

広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行



年頭にあたって

五城目町長

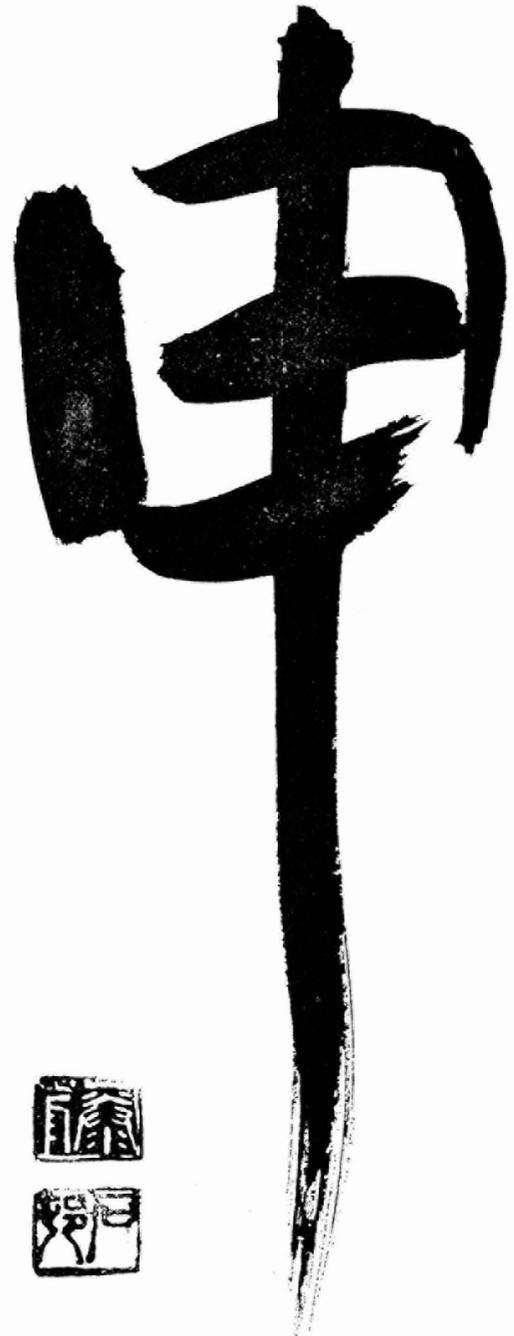
加賀谷力司

明けましておめでとう
ございます。

新しい年の門出に当り
町民の皆様の一層のご健
勝とご多幸をお祈りいた
します。

顧りみますと、わが町
も町村合併以来二十五回
目の元旦を迎えたわけで

ありますが、この間、町政は二十五年前とは隔世の感を覚える
ほどの躍進ぶりを示しておるのではないかと感じております
これも偏に町民の皆様のたゆまざるご努力の積み重ねと、
町政に対する深いご理解、ご協力の賜であると存じ、ここに
心から感謝申し上げる次第であります。
さて新しい年を迎えましたが、打ち続く不況、円高、エネ



伊藤石邨氏揮毫

ルギー問題、米の生産過剰など、わが国をめぐる内外の情勢
の厳しさを表徴するかのよう思われてなりません。しかし
このような時こそすべての人々が力を合せ、脚下に埋もれた
無限の可能性を掘り起すべき時機ではないでしょうか。
わが町では、これまで昭和四十四年に策定した総合開発計
画の線に添って「住みよい、暮らしよい、魅力ある町づくり」
を目標に諸般の施策を進めて参りました。

思うに、何人も人生究極の願いは「住みよい、暮らしやす
い魅力ある町に、善き隣人とともに住む」ことにあるのでは
ないでしょうか。
古い歴史を、遠い将来への展望を踏まえた、五城目らしい
特色に満ちた豊かな田園都市づくりと、善き人づくりに更に
力を注ぎたいと思えます。

いよいよ一九八〇年を迎えました。
八〇年代は地方の時代と言われております。今年、町民の
待望久しかった役場庁舎の建設にとりかかります。
皆様、大空に向かってぐんぐん伸びる秋田杉のように、この
新しい年を力強く前進しようではありませんか。

終りに、皆様の町政に対する一層のご参加、ご協力をお願
い申しあげまして年頭のごあいさつといたします。

海外で友情を深めた 若者たち

座談会

オペック(石油輸出国機構)がくしゃみをすれば、日本国民はたちまちかぜを引くと言われる中で原油価格は事実上青天井の国際情勢、転じて国内は政党間のバランスがとれず、離合集散が予想される上、国の財政再建元年と言われるなど

と交流したり、スポーツを通じて友情を深め合うなど、国際化時代にふさわしい活動や研修をしてきた方々を対象に、新春座談会を開きました。町内のみなさんが海外の国を知るいくばくかの資料になれば幸いです。



町長 高橋 隆



猿田 勤



石井 勝義



千田 金之助

司会：みなさんあけましておめでとうございます。

いよいよ一九八〇年代に入るわけですが、この八〇年代は、私たちが日本人が伸びていくには、いかに国際感覚を養っていくかにかかっていると言われています。

昨年は産油国のイランとワシントンのはざまに立って非常に苦しい思いをしていますし、この後も、国際的な動向が常に私たちの生活に影響をおよぼして行くことは明らかであります。

みなさんは、昨年海外に足を運んで外国の事情をとくとと見てこられた方々ばかりですので、その視点のままをおおきなお話したいと思いますが、初春にふさわしい放談にしたいと思えます。

始めに、何回か海外に渡航の経験をもつ加賀谷町長から、あいさつを兼ねて一言お願いします。

外国の理解度早くなる

町長：みなさん今日はお忙しいところ本当にありがとうございます。この本場にありがとうございます。「井の中の蛙(かわず)」という言葉があります。私も外国には二・三回行って見ましたが、三番目の子どももしばらくアメリカに行ってみて、先月、インド、タイなど回って帰っております。私の体験からすれば、外国へ行って来たために、その後人の話を聞き、あるいは新聞、書物を見た場合、理解の速度が早くなったような感じがします。みなさんも何か得るところが大きかったらうと思います。

家族だんらんの話題に

私としては、五城目の町民全員から行ってもらいたいと思えますけれども、これは言うに易く、実行

激動の八〇年代突入になりそうである。私たちの日常生活は国際経済を無視できないほど国際化されている現在、外国の諸情報を的確に把握(は)握して行くことは欠かせない生活条件となっている。このときにあたり昨年外国の地に足をを入れて、その国の青年たち

出席者(敬称略)

- ・秋田県青年海外研修関係
 - 猿田 勤(下樋口)
 - 宮田 朝子(下夕町)
 - 石井 勝義(黒土)
 - 松橋 政英(小川口)
- ・日中友好秋田県農業者青年の翼
 - 小林 正志(下山内)
 - 金子 ユキ子(西野)
- ・ボストンマラソン参加者
 - 石井 五兵衛(寺庭)
- ・主催側
 - 町長 加賀谷 力司
 - 収入役 千田 金之助(司会)

ユウムが一番印象に残っています。

このサナトリウムには千人の子どもたちがおりました。退院後にくる子どもや直接外来患者としてくるのもいましたが、入院している子どもは三五〇人ほど

で、これに対し医師は六〇人、専任の学校の先生が七六人、その他

こまやかな配慮に感心

二度と同じ病気にはほしくないという徹底方針で、二カ月も三カ月も滞在中滞しがらせなために、心理学面からも配慮されていて神経のこまやかさに感心してました。

タシケントの人々に親近感



チユリップの中から人形が、せんそくの治療

の部門を合わせると八五〇人の人たちが、子どもたちの面倒をみているとのことでした。

中央アジアに位置するタシケントの人々は、私たちに近いような顔立ちで、ヤポニーネ、ヤポニーネ、日本からきたのかと非常に親近感をもってくれたのが心に残っております。

子どもたちが

三カ月のキャンプ

宮田：印象に残ったのは、やはりレニングラードの街並みの美しかったことと、タシケントへ行ってみて、青少年キャンプに非常に興味を持ちました。

それは、子どもたちが、三カ月の夏休み期間集団生活をするわけです。日本ですと三カ月は親もとを離れて生活するということは、ちょっと考えられないことで、それに子どもが自立が随分問題になっていますけど、そんな面も考え合わせますと衝撃的といいますか、良し悪しは別として驚きでした。

うらやましい教育実習

キャンプには指導者とか先生もいますが、学校の先生を中心に、教育大学の学生が補助的な役割なんですか、教育実習みたいに参加していましたが、非常に有効だと思えます。

日本の教育実習だと、二週間から一カ月より少ないのですが、それをキャンプで子どもたちと一緒に生活するのは、実習という意味ですごくよいことだと思います。

私も二週間の経験がありますけど、あつという間に終わってしまいましたので、特に感じたわけです。司会：トビシリ方面の石井さんはどうでしたか。

一九六人の仲間意識

石井・印象は地区地区でいろいろありますが、一緒の仲間が病気をしたり、パスポートを失くしたりいろんなことがありまして、そのとき一九六人の一行が、日本ではおそらくみられない仲間意識といえますか、かばう、助け合うといった気持ちを持ったことが印象的でした。日本に帰ってから、この精神は大事にしようと話合ってきたわけです。

日常生活の

へんりに接する

景色とか建物では、エルミタージュ美術館の豪華さには本当に驚いてきました。

婦りに、ハバロフスクでちょっとしたこと知り合った人の家へ友だちと二人で行って見ましたが家の中も部屋の中も非常に殺風景なもので、いろいろ料理もごちそうになりましたが、レストランの味とはまた違って、日常の食生活の味に接してきました。

半坪の鉢植を誇る

向うの人は自分の土地がないらしく、ベランダの半坪位のところに鉢植を並べて、ことさらに自慢していたのも印象的でした。

司会：今、石井さんから聞きもらしたわけですが、トビシリはどの

土地利用が

有効的であった

へんで、どのような特長があったかも知ってお聞かせください。

地ありで、日本と違って土地をすく有効に利用している感じを受けます。

政治意識の強い青年たち

松橋：トビシリは、カスピ海の近くで、標高七百位の相当高いとソビエトの青年が非常に政治に関



中国の街角で一発ドン（方言）にお目にかかる

みられますが、向うの青年たちは積極的に参加していると感じました。政治に関心が深いのは、子どものころからのしつけといえますか、地域の中の一人として、地域のために貢献している面がみられるわけです。その点私たちが地域に対する貢献度もなく、地域を粗末にしているのでは、郷土をもっと大切にしなければと思ってきました。

ソビエトと日本を比較してみますと、住まいから食べ物まで日本は優れていると思いましたが、この優れているところを、ただのんびりと受けとめるだけでなく、自分のふる里をもう少し考えなおしなればと思ってきました。

司会：今度は、小林さんと金子さんから、中国の印象を述べていただきたいと思えます。

フラワーボックスに

漢方薬草

小林：中国は大地を歩いても空から見ても、非常に整然としているということでした。街並みも整然としていて、ほとんどの幹線道路にポプラや柳、アカシヤといったような街路樹があり、フラワーボックスもいたるところ設けられていまして、これにはまたそれぞれ漢方薬草が植えられており非常に合理的にできていました。

耕して天に至る

農業は大案に学べと言われていましたが、大案を感じたことは、非常な難儀の末、耕して天に至るといったような山の上まで耕作されていきました。灌漑（かんがい）用水も山頂からスプリンクラーで流しているような感じでした。

熱烈歓迎におどろく

大案近くの昔陽県で青年たちと行った交流会のときは、千二百人収容の講堂に入りきれず、外まであふれ出るほどのすごい歓迎ぶり、マナーのよいのが印象的で、その面では日本より優れているように見受けられました。小さいときからの道徳教育がそうさせているのではないかと思ってきました。

人口日本の十倍

国土二十六倍

人口は、日本の約十倍弱で九億六千万人、台湾を含めて九億七千万人と言っていました。戸籍のない人もいるのはつきりとわらないのが本音のようです。私たちは一部の都市より回らないわけですが、行く先ではどこもかしこも人がはんらんしてると言ってもいいほど、朝から晩まで人の波が見られたし、九億人を証明している状態でした。国土は、日本の二十六倍という広いものでした。

司会：大案の位置はどのへんですか。

小林：北京から特急クラスの列車で八時間位のところです。新幹線のような広軌鉄道でした。

司会：金子さんから、女性の立場

で見た中国観をひとつお聞かせください。

国の大きさと

道路にあふれる人

金子：私は飛行機の上から見て、中国ではなく大國だなと思いましたが、降りてみて人の多いのにまたびっくりしました。道路はどこへ行っても日本の倍以上広いものでしたが、その道路を人があふれるほど歩いているわけです。

三十年遅れの生活

正しい礼儀

朝六時ごろホテルの窓を開けると、ほうきを持っている人が目につきますが、中国の朝はまず清掃から始まっていることがわかります。それから老若男女を問わずトコトコトコ走っているのも目を引きました。

生活様式は、日本より三十年ほど遅れているとみましたが、礼儀の正しさと、精神面で学ばなければならぬ点が沢山ありました。私たちは二週間の滞在でしたがどのホテルへ行ってもカギはありません。他人に対する信頼感の厚いにはビックリしました。

社交面と労働面を

きちんと教育

幼稚園も三カ所ほど回りましたが、徹底した子どもの教育に驚きました。自分たちの踊りの輪に私たちを入れるし、私たちの踊りに子どもたちが積極的に入ってきます。こんな社交面のはかに、労働面もきちんと教えられているので、感心の外ありませんでした。



小林正志



石井五兵衛



松橋政英



金子ユキ子



宮田朝子

司会：石井さんの場合は、団体ではなくて全く自主的に一大決意をして、言葉の違う国へそれこそ裸で乗り込み、裸で走ってきたわけですが、ポストンマラソンに参加するという決意した点からお話していただけませんか。

ポストンの
きっかけ青梅で

石井(五)：最初ポストンマラソンに出場しようと思ったきっかけは、東京の青梅マラソンに参加してからです。

司会：青梅マラソンには何人位出場するのですか。

石井(五)：八千三百人ほどでした。

司会：ポストンの参加者はどの位で、向うの様子はどうか。

石井(五)：正式の参加者は七千三百人と聞いていますが、実際、走ったのは一万人位と聞いています。

アメリカへ行ってからの言葉に不自由はありません。それは団体ツアーで行った関係から、通訳もおりますので不安を感じませんでしたが、一応勝負するという気構えでしたので、走るまではあまりはしゃぐこともしなかったわけですが、自分なりに気持ちを抑えました。試合が終ったからは、折角のアメリカでしたので、いろいろなところを見せていただきました。

司会：日本からは何人の参加で、あなたは七千三百人の中で、どのへんの位置にいましたか。

日本から三十三人

石井(五)：日本からは三十三人

出場しましたが、私の戦績は千四百番目でした。

司会：石井さんポストンには、秋田県から何人出かけたか。

石井(五)：一人です。

町長：日本の選手で一番速い人は何位でしたか。

石井(五)：瀬古選手が二位でした。

たので、あのコースも一つの方法だと思えます。

町長：仲間とよく相談して、よいコースを考えてみてくれませんか。

司会：山田啓蔵選手がポストンマラソンで優勝してから、私たちはこの大会を知るようになりましたが、今回石井さんが参加したことによって、五城目の人たちにはグ



石井さんポストン市内をさつそうと〜ゼッケン345

ソビエトにはまだ

足を入れてないが

町長：私はソビエトにまだ足を入れてませんが、昔の北樺太当時のロシア領に家で石油のやぐらにする木材を納めていたわけです。五城目からも、今言う出かせぎの形で、かなりの人がやぐらたてるために行っていました、その人たちの話は聞いています。

戦後の中国にはまだ行ってませんが、戦前学生当時北京まで行ってますし戦時中は昔の満州(現東北)まで行ってあります。

おおらかなソ連人

勤勉な中国人

私は、ソビエトの一般国民は、非常におおらかな性格ではないだろうかと思っております。

それから中国人は、勤勉な国民ではないだろうかという印象は持っています。

今どちらも社会主義体制ですが社会主義体制も資本主義体制も行き詰まっている現状です。

その行き詰まりを打開するため社会主義体制では資本主義体制の中から何かを得たいとしているだろうし、資本主義体制も、昔の資本主義や自由主義とは格段の違いがあって、福祉行政や今の税制などにある所得の分配等は、社会主義体制でやっているようなものを取り入れているという前提を私はもっているわけです。

経済、労力投資の

仕方が問題

最近の中国経済の行き詰まりは土地の適正利用がなされておらないからではないかと、私は思います。

います。

生まれてくるものに対して、まず食べものをとることで、一寸の無駄もなく土地を耕やすわけですが、必ずしも作物に適しておらないところまで耕やしてしまうためにそこにかけた経済的な経費、労働力、人口増に対応するだけの生産量が上ってこない、食糧不足が起る、そこに破たんを来しておるのではないかと思うわけです。

作物の適さないところには、木なら木、山なら山、あるいは工場を設置するとか、石油を輸出して食糧を買うというような政策でなくて、とにかく食糧生産で子どもの口をふさぐというところに破たんを招いているのではないですか。

さらに社会主義体制ですから、いくら多く作っても、自分で余計に努力した分の分配はないだろうから、勤労意欲の減退につながるわけです。中には表彰されたり、勲章をもらったりで頑張る人も中にはいるでしょうがね。

日本は知識

中国は身につくしつけ

子どもに対しては、日本のように自由放任の体制ではないですから小さいときからのしつけは身につけていると思われれます。

日本の場合は、頭で教育するいわゆる知識としてはわかっているけれども、身につけていない欠点があるわけです。父親も学校の先生も一生懸命「悪いことをしてはだめですよ」と言っても口だけであって、小さいときから、是が非でもやらされる立場と違って身につけていないわけです。そこにいろいろな交通事故が多発したり、いくら火事を出さなくても、火

事が出てくるのはそのへんではないかと思っております。

司会：町長から昔のことなどお話しして話して話したが、中国もソビエトも土地を非常に効率的に利用されているというみなさんの話題がでたわけですから、現実的に日本とのハンデイはどんなものですか。

想像もつかない

回転ぶり

小林：南の上海では、日本では想像もつかない、年五〜六回転して畑作物の収穫をしているということ、稲も二毛作、三毛作をするという徹底ぶりでした。

化学肥料も若干入っているようですが、日本でも、その州と異なりますが、日本でも言えば県で生産されている例えば加里なら加里を、すべての作物に使用するといった状態で、施肥しても効果のないものにまで加里を使うなど、私たちが考えられないことをやっています。司会：日本に比較して農業技術が落ちるということですか。加えて農業の機械化はどうですか。

農業の機械化は

まだまだ

小林：稲の収穫量はだいたい六百キロから七百キロ位獲れるとは言っていました。秋田県の農業試験場の方が昨年の春から十一月まで滞在して秋田県式の稲作りをやったから、アキヒカリが七百キロ以上の収量を上げて中国の人々から非常に驚かされたということです。たんぼには、水牛とか馬の姿だ、トラクターや耕運機に、レ

ノラーを取付けたものは、街中を人乗せて走っているだけで、司会：教養のないところで恐れ入りますが、サナトリウムは結核だけです。

猿田：子どもの心臓、じん臓など全部で、その回腹施設ということ

司会：千人ほどの子どもに、医師看護婦、先生など八五〇人もいるそうですが、患者一人にほぼ一人に近い人員を配置しているということですか。

世界一美しい花のある部屋

猿田：そうです。そのような施設がレニングラードで二七カ所あり、二万人の子どもが施設を利用しているということでした。

特に象徴的なことは、世界一美しい花のある部屋というのがあります。三つか四つの部屋を順々に移動しながら、最後に世界一の部屋に到着するわけです。

最後の部屋にはすばらしいチューリップの花が咲いていて、子どもたちがその花に見とれている間すでに治療される仕組みになっているわけです。これは子どものぜんそくの治療ですが、治療されているという違和感が全くないところが感心させられました。

病気より恐ろしい

交通事故

病気の予防はワクチンでできるが、子どもの命を守る重点事項に交通事故をあげ、サナトリウムの中に立派な施設を造って、徹底した交通指導をしていたのも印象

に残っております。

司会：宮田さん、レニングラードが大変美しく、調和のとれた街並みであったと言われましたが、どのようなところでそんな感じを受けましたか。

帝政ロシア時代の建物

建物がズラリ

宮田：帝政ロシア時代の建物がズラリ並んでいるんですよ、その景色がまずよかったですし、モスクワの朝を早目に散歩したら、掃除が行き届いていてチリ一つ落ちていないわけです。そんなところもやはり一つの要素じゃないかと思えます。

司会：先ほど金子さんも中国の朝はおばさんたちの掃除から始まると同じような場を言っていました。これは国民性なのか、それとも、町や市でそれをきちっとやっているものか、そのへんどうでしょうか。

掃除は第二次大戦の

未亡人たち

宮田：両方だと思えます。もう一つ別の面は、掃除しているおばあさんたちは、第二次世界大戦で夫を亡くした未亡人救済対策の一つになっているとみてきました。

司会：松橋さん、さっきのお話の中で説明不足なところや、町づくりに対してこんなところを取り入れたい点、要望などありましたらお聞かせください。

人々の触れ合う

場所がほしい

松橋：ソビエトの方は昼休みが二

時間もあらかしめて、その時間帯を利用しながら、公園の散策やのんびり日なたぼっこをしたり、ねそべったりなんかしていましたが、ゆつたりとした時間の過ぎ方がこの都市へ行っても同じような風景が見られました。

この町の場合ですと、本町部があつて、その中に商店街、民家という形態になっていますが、例えば、町の真ん中を流れている馬場目川をもっと高度に利用するなどして、町の人々がもっと気軽に触れ合う場所があつてもよいのではないかと思えます。

それに住める場所の開発がまだまだ不足なような気がしています。

どんぶり一つの食生活

金子：労働者の賃金は一カ月だいたい六〇元で、日本円にして約九千円、五人家族の場合一万一千二百円あれば生活できると聞いてしみじみと国の違いを感じてきました。

私たちはホテルでよいものを食べてきましたが、大衆へ行ったら、夕方本を買った外へ出たら白いどんぶり一つ持って皆んな道路へ座って食事しているわけです。毎日このような生活なのか聞きましたら「そうだ」という返事でした。もっともどこの家も八畳位の土間とあとは寝るところよりなく、炊事は共同炊事場でした。どんぶり一つの中になんでもかけて食べるのだそうで、それぞれ見せ合ひながら食べる習慣があることもわかったわけですが、栄養面でどうかなあと思ってきました。

私たちがから見れば、大人も子どももみな栄養失調に見えますが、相手から見れば、日本人はどうしてこんなに太っている人が多いか

と反対に聞かれてしまいました。司会：小林さん、今回の研修をとおして何か考えられることがありましたか。

小林：人民公社、工場その他随所に子どもの遊べる広場が必ずといってよいほどありました。

五城目町にもあるにはありますが、まだまだ不足なのでその点を配慮していただきたいと思えます。

文化会館がほしい

猿田：五城目には川柳始め文化的に高いレベルのものが沢山あるわ

の好きなどころへ行くわけです。不良化防止や落ちこぼれの防止にもつながっていると思うのですが、大変いいことだと思ってきました。このたびの体験からしてこの後一人でも多く海外研修に送ってくださるようお願いいたします。

司会：子どもの広場、文化会館の建設、子どもの不良化防止につながる少年の家、また今後も町の人々に海外研修の場を与えてほしいという要望であつたようですが、最後にそれらを含めながら、町長からまとめていただきたいと思えます。

まずある施設の高度利用を

町では、町民センター、広域体育館、環境改善センター、生活改善センター、林業協業センター、温水プール、野鳥の森、恋地国設スキー場、森山のキャンプ場など町民の要望に応えるべくかなり造っているもので、今ある施設をもっと使ってみてもらえないでしょうか。何とすればもっと使い易くなるのか私たちが勉強して、みなさんのご要望に応えたいと思えます。文化会館ができるまでの間、改善するところは改善するなど検討してもらいたい、一生懸命やりますのでよろしく願います。

司会：今日は、みなさん貴重な時間を割いてお集りいただきましてありがとうございます。

町長はみなさんの発想を何らかの形で町づくりの中に反映したい気持ちを持っておられるようですからどうか今後とも町づくりのためにご尽力いただければ大変ありがたいと思えます。

今日はどうぞ長い間本当にありがとうございました。おわり



道路に座って食事をする子ども

グループで

アイディアの提供ほしい

会館的なものを欲しいものだと思っています。ソビエトには工場や区ごと、あるいは集落農場の中にもすごい劇場という立派な建物があつてダンスパーティーなどいつも利用しているわけです。ビタイン組など若者の交流の場としては是非お願いしたいわけです。

少年の家の役員

大きいと思う

金子：上海に少年の家というのがあつたわけですが、放課後絵画、音楽、ししゅうなどいろいろなコースの部屋が沢山ありまして自分

けですが、気軽に利用できる文化会館的なものを欲しいものだと思っています。ソビエトには工場や区ごと、あるいは集落農場の中にもすごい劇場という立派な建物があつてダンスパーティーなどいつも利用しているわけです。ビタイン組など若者の交流の場としては是非お願いしたいわけです。

町長：将来文化会館を建てようとする用地はすでに確保してあります。海外研修には今年も予算を計上して検討していきます。宅地と公園の問題も出ましたけれども、磯ノ目大橋の両側に河原公園用地を確保しております。宅地については最終決定をみておりませんが、矢場崎グラウンドを造成して、宅地分譲を考えていますけれども、これから議会と相談したいと思っております。少年の家に

一月六日出初式

館岡・工藤両氏に有効章

昭和五十五年の出初式は恒例により一月六日午前九時から行われるが、式典の席上第三分団副分団長館岡辰一郎氏、第十分団副分団長工藤雄二氏の二人が県知事表彰有功章を受けるのをはじめ、次の方々が表彰される。

・県知事表彰有効章(敬称略)
第三分団副分団長 館岡辰一郎
第十分団副分団長 工藤 雄二

・県知事表彰永年勤続功労章
団本部副団長 武田 新市
三分団副団長 齊藤 鴻司
四分団副団長 小野 新一
十二分団副団長 八柳 新之丞
前団本部副団長 八柳新之丞

・同三〇年勤続章
一分団副団長 栗山幸太郎
三分団副団長 小玉兼太郎
九分団副団長 伊藤 邦雄
十分団副団長 松橋 兼一
十三分団副分団長 佐藤 昌一
同 団員 小熊勝太郎
伊藤 豊蔵
千田安太郎

・同二五年勤続章
一分団部長 菅沢 富一
八分団副部長 伊藤 義男
十分団副分団長 工藤 二一
同班長 松橋 四郎
同班長 小玉三治郎
同 一分団班長 沢田石小太郎

・同二〇年勤続章
同本部班長 鳥井猪一郎
一分団班長 久保市久之助
四分団副員 佐々木十内
十分団班長 小玉 勇
同 団員 松橋 国雄
石井 良雄
工藤 善福
工藤喜佐雄
千葉堅之助

・同十五年勤続章
四分団 藤 井 一
八分団 原 田 行 雄
同 椎 名 勇
十一分団 沢田石 文 一
十二分団 浅野 登
十三分団 加藤理紀之助
消防署消防士 金野 鉄 男

・同火災予防の功勞
岡本二区火災予防組合
同消防活動協力者
上恋地消防隊
猿 田 春 紀(上樋口)

九分団 田中英作
十分団 工藤 雄二
十一分団 佐藤 勝治
十三分団 佐藤 道雄
同 佐藤 雄
同十五年勤続章
四分団 藤 井 一
八分団 原 田 行 雄
同 椎 名 勇
十一分団 沢田石 文 一
十二分団 浅野 登
十三分団 加藤理紀之助
消防署消防士 金野 鉄 男

野田八幡神社
広 幡 昭 雄(大 川)
佐々木 吉三郎(岡 本)
宮 城 三 郎(蓬内台)
沢田石 忠 作(小川口)
小 玉 昭 悦(浦横町)

同火災予防の功勞
岡本二区火災予防組合
同消防活動協力者
上恋地消防隊
猿 田 春 紀(上樋口)

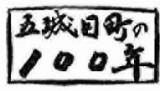
同火災予防の功勞
岡本二区火災予防組合
同消防活動協力者
上恋地消防隊
猿 田 春 紀(上樋口)

雪しんしん静かに眠る北の新春
母の掌を借りて着付けの初鏡
健康で五十五年へ夢を抱く
屠蘇を酌む季節労働の指のふし
ほんのりと染めて年賀の街を行く
見て聞いて言わぬ覚悟の初日の出
屠蘇酌んで胃の腑へすみるお元日
初陽射す初心に映える松の色
新年をいで湯で過す果報者
拳骨の固さで明けるお元日
新年へエブロンきつく身構える
元朝を目出度く開く福寿草
神様へ無理を承知の初詣
進学の願ひ賽銭はずませる
初詣働くこの手に運のそば
お年玉もらえば外孫消えてゆく
正月が動く子の声妻の声
はげましの炎は新春の罪とする
公務員三猿主義で出世道

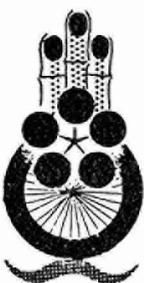
「川柳すずむし」新年句

雪しんしん静かに眠る北の新春
母の掌を借りて着付けの初鏡
健康で五十五年へ夢を抱く
屠蘇を酌む季節労働の指のふし
ほんのりと染めて年賀の街を行く
見て聞いて言わぬ覚悟の初日の出
屠蘇酌んで胃の腑へすみるお元日
初陽射す初心に映える松の色
新年をいで湯で過す果報者
拳骨の固さで明けるお元日
新年へエブロンきつく身構える
元朝を目出度く開く福寿草
神様へ無理を承知の初詣
進学の願ひ賽銭はずませる
初詣働くこの手に運のそば
お年玉もらえば外孫消えてゆく
正月が動く子の声妻の声
はげましの炎は新春の罪とする
公務員三猿主義で出世道

昔の正月は、いわゆる旧正月であった。太陰暦の旧暦による正月である。
太陰暦が、新暦とよばれる太陽暦に切りかえられたのは、明治四年(一八七二)の太政官布告という政府の命令によってであった。しかし人々の生活に深く根をおろした旧暦が、一片の布告によってかわるものではなかったから、人々は長い間、新暦と旧暦の二本建の生活をしていたのである。
とくに、気候と直接にかかわりあう農業にとって、月の運行をもとにした旧暦は、かんとんに捨てられない意味をもっていた。農作業はもちろんのこと、農村、農家の行事も、旧暦でするしかなかった。
旧正月は、冬のまった中の正月で、子どもたちは冬休みがおわっていた。正月には、大正月と小正月の二つがあった。元日から七日まで大正月、一月十五日から二十日まで小正月である。
大正月は、前年十二月半ばをすぎるところから、越年行事としてつづいていて、新年を迎え一家の多幸を祈る嚴肅で敬けんなものである。大正月は静かに家族そろって新しい年を迎えるものとされている。
小正月は、大正月とことなり、豊作を祈り田の神をよるこぼすためのにぎやかで動的な行事がつづく、小正月は農業神のための正月である。「ふきどり餅」というイ



98 大正月・小正月 上 小野 一 二



手軽に利用できる国の進学ローン

昨年度、国民金融公庫に創設された「進学ローン」は、当初の予定した二百億円を上回る融資実績となつています。それで、今年度は融資枠を三百億円に増額し、五十五年一月から取扱いが開始されます。来春、高校、大学等に進学される子どもさんをお持ちのご父兄の方は利用してください。

融資制度のあらましは次のとおりです。

①利用できる方

高等学校、高等専門学校、大学、大学院、専修学校の高等課程(修業年限が三年以上)または専門課程(修業年限が二年以上)に進学

される生徒の父兄(年収五百万円以内、事業所得者の方は三百五十万円以内の方に限る)

②融資額

一世帯あたり五十万円以内

③資金の使いみち

学校、入学金、授業料など進学に必要な資金

④融資期間

高校：三年以内
大学：四年以内

進学する学校の修学年限以内(最長四年)

⑤利息

年八パーセント(予定)

⑥保証人 一名以上

財団法人進学資金融資保証基金を利用される場合は不要

⑦返済方法 毎月元利均等返済(増額返済の併用も不能)

⑧取扱期間

五十五年一月から受付けるが随時相談に応ずる

⑨取扱窓口

国民公庫、各信用金庫、各銀行、相互銀行、信用組合、漁協、農協

⑩問合せ先

国民金融公庫秋田支店
秋田市千秋矢留町二ノ八
☎〇一八八—32—五六四—

税金の相談や苦情は 税務相談室へ

税金のことでわからないとき、

知りたいときは「税務相談室」を利用してください。

相続税、贈与税、土地や家屋を売買したとき、災害減免など、税金のことならなんでも気軽に電話で相談してください。

匿名でも相談に応じます。

また、税金の苦情についても受付けています。

▽税務相談室 秋田南分室

☎〇一八八—33—三〇四四
(秋田市中通五丁目五—二)

隣接市町村交歓スポーツ大会

参加申込みは10日まで

一月二十日午前九時半から広域体育館で五城目町との隣接市町村交歓スポーツ大会が開かれます。

これは、町の教育委員会が町民のみなさんの健康づくり、体力づ

くりとあわせて、当町と隣接する市町村民の方々の交流と親睦を深めることをねらいとして行なうものです。参加市町村は、秋田市、井川町、八郎潟町、琴丘町、上小阿仁村、大潟村の予定です。

町の教育委員会では、この大会の参加チームを募集していますがその内容は次のとおりです。

▽競技種目

- ・室内テニス
- ・室内ゲートボール
- ・バスケットボール(男子、女子)
- ・参加資格
- ・五城目町の町民であること
- ・学生、生徒は出場できない
- ・全国大会出場者でも出場できる
- ・出場種目は制限しない
- ・申込み期日および方法
- 一月十日(木)まで五城目町公民館(選手と役員の名簿を提出する)。

五城目町の石仏 25

小川元生

三面八臂(び)での恐ろしい忿怒の相をしているのは馬頭観音である。他の観音はやさしい慈悲相であるのに、この観音だけは怒りの姿である。

これは慈悲で教化しがたい衆生のために、仏が怒りの姿で救いあげようとしているのである。

弥陀の変化した一つの形が馬頭観音といわれている。形像は外に二臂、四臂あるいは一面二臂といろいろあるが、いずれも忿怒相で

三眼があり炎え上る鬚髪には馬頭がのぞきすぎましいのだが、この町ではこのように造られた像は、ほんの二、三基しかない。外に一面合掌像の柔らかなものがあるが、石面に馬頭観世音と陰刻した文字塔形体のものが多くなっている。はじめは宝馬が四方を猛進し、生死の大海を馳けわたり四腕(憤怒、死など)を打破する大威力を表徴し、人間の無明救済の仏となっていたが、やがては馬や牛などの生育や死馬の冥福などを祈る動物の仏となっていくのである。

機械化された今では暗い室内や野にひっそりと晒されている。



▽シリーズ△ 心の病気 ⑥
秋田大学医学部附属病院
久場 政博

ひきつけと発作 その一

ひきつけという「白い目を出

発作は突然のさけび声で始まる

してアワをふいてたおれるこわいでんかん」と考えている方が多いかもしれません。しかし、てんかんの状態はこれだけではありまじし、適切な治療によって発作をおさえることができるようになって

気分がいらいらしたりします。そして発作の直前に、きらきら光るものがみえたり、周囲がグルグルまわったりします。このような症状はでる人でない人がいます。発作は、突然のさけび声ではじまります。ぼったりたおれ全身が

ときにもうろうとなつてうろろう動きまわる人もいます。すぐ目がさめる人、発作のあとぐっすりとなむる人、種々です。この発作は精神科で大発作といわれるもので、てんかん発作の代表例です。以前はその状態が周囲

の人にこわい感じをあたえていたが、現在は適切な治療で発作をとめることが可能になっていきます。また家族の人は、この発作が起るとそのまま死んでしまうのではないかと思つてよく心配しますが、医学的に発作そのもので死ぬことはありません。ただ間接的に発作のため意識を失ない、高いところから落ちたとか、水におぼれたとか、機械にまきこまれたといつて生命に危険な事故を起すことがあり、仕事や環境には十分の注意が必要でしょう。



当り年の抱負

今年(十二支の申(さる)に当ります。干支(えと)では庚(かのえ)と申(さる)の組合せとなります。

「庚」は金性の冷たさと変革を表わし、「申」は勤労を意味するそうです。形式より実質を重んじる堅実さと、次の新しい秩序へ移行する不安定な過渡期の年なのだそうです。年の始めに当り、十三人の申年生れの人たちに、今年の抱負を語ってもらいました。

優勝めざして

今年(さる)は、さる年でもあるし、小学校最後の年でもある。そんな意味で今年(さる)は最高の年にしたい。

まず一つの目標は、ミニバスの郡大会で優勝することだ。去年は準決勝で大川小と対戦し、十一ポイントで負けてしまった。今年も大川小には身長百七十センチ以上の選手もいるし、最大の敵になると思うが、全力をふりしぼってがんばり全県大会に出場したい。



五小 船木七月

もう一つの目標は、郡の水泳大会で入賞することだ。去年はぼくは五年生の選手として出場したが、他校の選手に比べて問題にならなかった。五年男子はこの大会で一点も取れずに終わってしまったのだ。

今年最高学年になるぼくたちに全責任がかかるような気がする。しかし、町には、冬でも泳げる温水プールもできたことだし、今年こそは優勝めざして大いにがんばりたい。

じょうぶな体づくりを

今年(さる)はスポーツばかりの年になりそうだが、勉強の方にも力を入れてがんばりたい。

めざして

今年(さる)は、ちょうどさる年です。わたしたちの当り年です。わたしは今年になって、やりたいと思ってる事があります。

わたしは体が弱くて、少しの運動でもすぐつかれて、たおれそうになります。とくに夏の暑い日、外で運動をやっていると、自分で死んでしまうのではないかと、自分では、つかれることも時々ありました。だからわたしは今年になって、水泳を一番いっしょうけんめいやって体をきたえたいと思います。



五小 近藤 育

去年は、クロールでやっと二十メートル泳げるようになりまして、今年(さる)は五十メートルを目標にしてがんばります。小学校最後の年なので、去年のように大会に出られたら、背泳ぎ

の二十五メートルをやって一等にしたいというのが、わたしのもの一つの目標です。町の温水プールで、冬のあいだもいっしょうけんめいがんばります。

汗を流してがんばる

昭和五十五年。僕たちが小学校を卒業し、中学生になる喜びと希望に満ちた年である。四月には中



馬小 石井新栄

実際に行動する

学生としての生活が始まる。中学校には、いろいろなクラブ活動や委員会活動など、たくさんある。ただ、ぼくは背が低く、やせているのでクラブ活動や委員会活動に耐えていけるか心配だ。それで、今から体をきたえるためにマラソンを走っている。

中学校にはいったら、汗を流して一生けん命がんばれる部を選びたい。後悔のないようがんばりたい。勉強の方では、小学校にはない英語に少し興味があるので、がんばり、中学校生活を楽しくすごしたい。

実際に行動する

昭和五十五年は申(猿)年です。私は、昭和四十三年の申年に生まれたので、今までは「さる、さる」と言われてきたこともありますが、くやしき思ったこともありません。

昭和五十五年は、私の当り年です。そして今年(さる)は、私の当り年です。だから、スポーツをがんばりたいと

思います。私は運動神経が発達している方ではないので、スポーツの正選手になった事はありません。みんな補欠でした。だからスポーツができる人をどんなにうらやま



馬小 石井佳代子

大きな夢

ぼくの生まれ年は、さる年で、今年(さる)は、ぼくの当り年です。考えてみると、ぼくも四月からは中学生となり、何か大きな飛躍を夢みて頑張りたいと思っています。

今年(さる)は、私の年です。私のクラスでは、法子さんと昌君と私だけです。

「猿年」は、木に登るのがとくいだ。聞いたことがあるけれども本当」と聞かれました。ありがとうございます、本当です。と言うよりも、私は小さい時には、おてんばで、木に登ったりしてあそびました。いまもおてんばですけれど。

自分ではまだ子どもだと思っていけれど、ほかの人に少し大人に見られたので、どび上がるほどうれしかった。これからは少しずつ大人になっていくので、おてんばをなおし、勉強などにはげみたい。



杉沢小 石川義樹

また、歴史もいよいよ八十年代へと入ります。それにつれて、この社会も一そう目まぐるしく動きながら進んでいくように思われます。

今までのことを

反省して

私も、もう生まれて二十四年。この間振り返ってみても、これといて自分の心に残るようなものがなく、ただ平凡にきたような感じがします。



本間敬悦

「おてんば」をなおして

今年(さる)は、私の年です。私のクラスでは、法子さんと昌君と私だけです。



杉沢小 佐々木美緒

「猿年」は、木に登るのがとくいだ。聞いたことがあるけれども本当」と聞かれました。ありがとうございます、本当です。と言うよりも、私は小さい時には、おてんばで、木に登ったりしてあそびました。いまもおてんばですけれど。

自分ではまだ子どもだと思っていけれど、ほかの人に少し大人に見られたので、どび上がるほどうれしかった。これからは少しずつ大人になっていくので、おてんばをなおし、勉強などにはげみたい。

女として最高の年に

今年、一九八〇年、昭和五十五年は私の生れ年(申年)です。まだ実感がないままです。早いもので高校を卒業してもう六年目にはいりました。それと同時に、社会人として働いてもう五年が過ぎました。

私は今、事務の仕事をしてます。六年前の希望としては、毎日同じような事務の仕事がいやで、どちらかというと手に職のある仕

事をしてみたかったのですが、どういう訳か、ただ思うだけで今日まで来てしまいました。

このごろ若い人(学生)を見てみると、つるつるいふふふと思ってしまう。毎日に変化して行く自由で明るく自分としては、二十四歳は女として最高の年であると思います。昨年、友達の何人かはお嫁に行きました。花嫁衣装を見ると、私も早くいい人がいたら結婚したいなあと、思います。ところが、花嫁修業は何一つしていません。今までは習う時間がありませんでした。



上樋口 猿田文子

でも私は、いざとなれば何んだったやれると思っています。私は、結婚について大変興味を持っています。反面、先輩のお話や他の事を考えると、あまりしたくない気持ちもなくありません。結婚してしまおうと、たいていの人は良くも悪くも変わりますね。友達から言わせると、私の欠点は、まず好みの男性に注文が多いこと、身近の人に目を向けないことだそうです。私は自分では、面倒見のいい女だと思っています。

反省の年
昭和五十五年元旦あけましておめでとうございます。
今年には猿年生れの私にとって当り年であり、また還暦の年でもあります。毎年のことながら、年頭には今年こそはと思いつつも、振り返って見るに、なかなか満足の出来る反省のないまま、六十年の人生を過ごした感じがする。



寺庭 石井金蔵

しかし、今年こそ是非当り年にならねばならない。一年にしたいものと祈っている一人である。私は現在、馬場町児童館の管理職にあずかっているが、その満足な管理と、現代の世帯に生きる子どもたちの健康ですこやかな成長に努力したいと思っている。子どもと家庭、家庭の中の親子のかかわりあい、現代ほど複雑かつ難しいことはないと言われているが、現代の子どもの気持ちは見極めながら子どもたちを喜ばせる児童館の管理に奉職したいものである。また家庭には昨年二人目の外孫に恵まれ、その成長を羨しみにし、長男の結婚も遠くないことも考えると、還暦を契機になお一層頑張りたいと思っています。

自から学ぶ心を
忘れずに

あけまして
おめでとうございます
年の瀬のあわただしさから、たった一夜過ぎたのに、身も心も清められ、真新しくなった気分です。迎える新春は、いくつになってもさわやかさを覚える嬉しものです。

そして、きのうと今日なのに色々な事に自分なりに区切りをつけ「今年こそは」と意気込む。昨年中は、組織活動を通して色々機会に恵まれ、数々研修の場を踏む事ができました。またその機会を通して、たくさんの人との出会い、触れ合い、助け合い、その素晴らしさに感動し、明け暮れてしまいました。

新年とはいえ、組織活動の上では、年度末を迎えるにあたり、何かと心忙しい日々になるでしょうが、すっきりとした気分です。納めたかと思つて、今更にききどかかかった主婦業に専念したいと思つています。

これからの私たち、他の人に頼って生きるという姿勢で良いだろうか? 目まぐるしい社会情勢から受ける無知な私の愚問でしょうか? 色んな機会を通して、いつも疑問に思ひます。黙つていくと自分だけがとり残されていくような気がして。



富田 石井三千代

町では色んな面から生涯教育の推進を図っていますが、私たちがいかなる立場にあっても自から学ぶ心を忘れず、社会に対応できる母親でありたいと願っています。

「老」への設計を確実に

四回目の当り年、切迫した「老」への感じは今までなかったが、今年はいよいよやむを得ない受けとめなければいけない。長男の結婚、長女の出産により、祖母と母という避けられない事実が私を待ちかまえてくる。まだ姑が健在なせい、嫁としての気持の抜け切らない自分を

情なく思う。
一円の収入も得られぬ主婦の立場から、諸物価値上り、減反面積



箱越 斉藤妙子

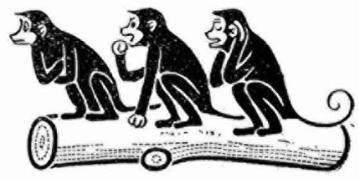
の増大の生活のおさえられる出費は出来るだけおさえ、外で働く家族を暖かく迎え、疲れをいやし、明日への活力をいかに培ってあげるか、私に与えられた大きな課題だと思つた。

子供達に「よい人ってどんな人?」と私はよく問う。世の中には①いてもよい人 ②いなければよい人 ③いてもいなくてもよい人があると思う。果たして自分はそのよい人に入るのか?

人間らしく生きたい

新年おめでとうございます。
元日や冥土(めいど)の旅の一里塚目出たくも目出たくもなしと一休禅師様は申され、棒の先に骸骨(しゃれこうぶ)をつけ、ついで町を廻られたとのこと。
今年には私の当り年であり、さらに還暦を迎えるまで生きられ、天地の恩恵、神仏のご加護、社会の方々のご厚情に依るものと深く感謝しながら新春を迎えたことは、目出たくもあり、逆に冥土への一

里塚でもあり、目出たくもなしで複雑な心境であります。
今年には多難な申年と想像されま(く)を發揮して平和な町、国土にいたしております。



私は児童館に勤めさせていたでいております。世の大人たちは青少年の非行問題とかなんと口にし、それに対する予防手段も大切ではありますが、子どもたちと接していて考えさせられること



富田 小沢活全

とは、子どもたちは実に良く大人の世界を覗(み)ています。世の大人たちが、子どもたちに大々示せるのが、最も大切なことではないかという事です。
子どもは子どもらしく、心豊かに素直に育ってほしいと願つて接しております。そのためにはまず私自身の日々の行動態度を正しく保つて行かなければならないと考えますので、今年は一層努力と反省を以(も)つて、身も心も人間らしく生きてゆきたいと思つてお

愛と汗の二字が座右の銘

私、生を得てから六回目の申歳を迎えたが、今思えば長いようで短かく感じる。



樋口 猿田俊蔵

青年時代は、あの戦争とその前後の混乱期で心の置きどころがなく多忙な毎日だったが、自分はいつも愛と汗の二字を心のシンボルとして、体の続くかぎり若さで働こうと心がけた。愛はひろく物を愛することである。私は農家の関係上作物を愛するようになった。汗は体を鍛えることで、健康体で働こうと心がけ、今も体のゆるすかぎり続けるつもりである。
昭和三十八年、気象観測を始めるようになってから、自然を愛する気持になった。今は自分の趣味のようになった。これも青年時代を通して愛の字が心のどこかにあったから、その発想のおかげだろう。
毎朝午前九時には、かならず森山を眺める事になっている。あの偉大な雄姿。空は変われど森山は変わらず、昨日雨でも今日晴ればすがすがしい姿で、五城目町を山ふところをいざいて、我が子のように常に未来に指向を持つ建設的な活動を教えてくれるような感じがする。あの姿を見れば歳老いた私等も勇気づいて、これではいけないと励まされる。
自分ばかりではない。森山を眺めて感動された町民はたくさんいると思う。願はくば森山の自然を守ることは、未来につながる息の長い町民運動の一つと考えたいものだ。



おしらせ

五城目幼稚園

55年度の園児募集

五城目幼稚園では、五十五年度の園児を募集しています。募集内容は次のとおりです。ご不明な点は、五城目幼稚園または町の教育委員会におたずねください。

●応募資格

- 昭和五十六年四月に小学校一年に入学者のもの
昭和四十九年四月二日から昭和五十年四月一日までに生れた者(満五歳)
五城目町に住所(居)を有するもの

◎募集人員 約一六〇人

③出願手続

幼稚園および町教育委員会が配

岩城町の公営住宅

入居者を募集

町では岩城町にある公営住宅の入居者を募集しています。これは入居者が転居したことによるもので、募集戸数は一戸です。

申し込みは役場に備え付けの用紙をお願いします。

募集内容は次のとおりですが、詳細については役場建設課住宅係にお問い合わせください。

・住宅所在地

布する用紙を使用する。

願書は幼稚園または町教育委員会に提出する。願書には園児の住民票も添付する

④願書受付期間

一月二十二日～一月三十一日

⑤出願者の身体検査

二月十四日(木)午後一時半から幼稚園で行う

⑥入園許可 二月二十日(水)

幼稚園遊戯室に掲示する

1月11日

献血をお願いします

一月十一日午前九時半から、町内五カ所を献血車が巡回します。一回の献血量は二百ミリリットルですが、この量は身体の全血液の約二十分の一で、健康には影響ありませんし、採血前に医師が検診を行います。

▽夜場前

午前9時30分～10時30分

五城目町上樋口字樽沢64 (岩城町)

・種別規格

第二種木造平家建二九七平方呎

・家賃 月額 二六〇〇円

・募集期間 一月三日～一月九日

・入居期日 一月十六日(予定)

・入居者の資格

①五城目町に居住している者

②敷金(家賃の三カ月分相当額)および毎月の家賃の支払い能力のある者

③現に住宅に困窮していることが明らかなる者

▽農協前

午前11時10分～午後0時10分

▽中央交通前

午後1時30分～2時10分

▽電々公社前

午後2時30分～3時10分

▽保健所前

午後3時30分～3時50分

冬休みを利用して

家族でスポーツを

町では児童生徒の冬休み期間を利用して、広域体育館でファミリースポーツ教室を開きます。町内部落会の子ども会員や育成会員など多数参加してください。

参加を希望する人は、各町内子ども育成会長を通じて、一月四日まで、五城目町公民館へ申し込みも受け付けます。

この教室の期日とおもな内容は次のとおりです。

▽期日

1月9日、10日、11日、14日

16日、17日、18日のうち都合のよい日を選んで一回参加する

▽時間

午後五時半～七時

▽内容

親子体操、室内運動会、トレーニング運動、ミニバスケットボール、バレーボール

日常の体力づくりを指導

園児とその親が対象

一月二十二日から三十日まで、広域体育館を会場に、親子体力づくり教室が開かれます。

この教室は町内の保育園児、幼稚園児を対象として、親子体操、ゲーム、料理実習などの実技指導

人権擁護委員に

小熊直直さん再委嘱される

大川の小熊直直さん(74)が十二月十五日付けで引き続き人権擁護委員に委嘱され、これから三年間町民のみなさんの中にあって、人権擁護活動を行うことになりました。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された人で、全国の市区町村に約一万一千人が配置されています。この人たちの仕事は、人権相

を中心に行われます。会費は四百円(料理実習材料代、資料等)です。

日程は次のとおり

▽日程

1月22日 五城目幼稚園A班

23日 五城目幼稚園B班

24日 五城目保育園A班

25日 五城目保育園B班

28日 大川保育園

29日 杉沢、馬場目保育所

30日 富津内、内川保育所

(時間：午前九時半～午後三時)

談、人権侵害事件の調査、処理および人権思想の普及高揚を図ることです。

町内の人権擁護委員は小熊さんのほかに、次の方々も委嘱されていますので、土地や家の問題、近所とのトラブル、家庭のもめごとなどで困っている方は、気軽に相談してください。

相談は無料で、秘密は守ります。

佐藤 勝太郎(仲町)
小林 米蔵(下山内)
川村 アヤ(川原町)
加藤 教蔵(野田)

▽水曜日 午後1時～午後4時半
午後5時半～午後8時半

▽木・金・土曜日

午後1時～午後4時半
午前10時～正午
午後1時～午後4時半

▽祭日

午後1時～午後4時半

誕生

おめでとう

ございます



おくやみ 申し上げます

Table listing names and birth dates of children born in the area. Columns include names (e.g., 西野 小鯨, 大川二区 沢田石千尋), birth dates (e.g., 11/4, 11/12), and parents' names (e.g., 伊藤多一郎, 菅カツエ).